

令和8年度版 理科の学習 4年生

		児童用	教師用
1	【大日本】 春の始まり 1 天気と気温 2 春 【東 書】 1 あたたかくなると 3 天気と気温		
2	【大日本】 3 電池のはたらき 【東 書】 4 電流のはたらき		
3	【大日本】 4 とじこめた空気や水 【東 書】 8 とじこめた空気と水		
4	【大日本】 5 雨水のゆくえ 【東 書】 5 雨水のゆくえと地面のようす 7 自然のなかの水のすがた		
5	【大日本】 夏 星の明るさや色 夏の終わり 【東 書】 暑くなると 夏の星		
6	【大日本】 6 月と星の位置の変化 秋 【東 書】 6 月や星の見え方 すずしくなると		
7	【大日本】 7 わたしたちの体と運動 【東 書】 2 動物のからだのつくりと運動		
8	【大日本】 8 ものの温度と体積 【東 書】 9 物の体積と温度		
9	【大日本】 冬の星 冬 【東 書】 冬の星 寒くなると		
10	【大日本】 9 もののあたたまり方 【東 書】 10 物のあたたまり方		
11	【大日本】 10 すがたを変える水 【東 書】 11 水のすがたと温度		



4 年	1 令8 理科	【大日本】春の始 ^{まり} 1 天気と気温 2 春 P4~5 P6~13 P14~23, P220~221 【東 書】1 あたたかくなると 3 天気と気温 P6~15, P188 P30~37	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
							/65	/35

《全問各5》
《35》

【1】 春の植物や動物について調べました。

(1) 春によく見られる植物や動物を、下のア〜クから4つえらび、記号を書きましょう。

ア ツバメ

イ ミンミンゼミ

ウ カブトムシ

エ ナナホシテントウ

オ オオハナブタの花

カ ヒマワリの花

キ サクラの花

ク ホウセンカの花

(1)	
■	
①	
(2)	
■	
②	
③	

(2) 春の植物や動物についてまとめました。() にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。

春になって (①) になると、新しい (②) を出したり、葉を広げたりする植物がふえる。また、たまごをうんだり、活動が (③) なったりする動物がふえる。

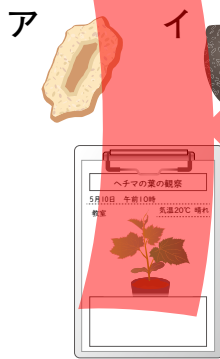
ア さむく イ あたたかく ウ 芽^め エ 実 オ にぶく カ さかんに

【2】 ヘチマとツルレイシを育てます。

《20》

(1) 右の図は、ヘチマとツルレイシのたねを^{かんさつ}観察してかいた絵です。ヘチマのたねはア、イのどちらか、記号を書きましょう。

(2) 観察カードに、植物の名前、観察した日時、場所、気温、天気、植物の絵をかきました。ほかに、植物のどのようなことを書くとよいか、3つ書きましょう。



(1)	
■	
(2)	

【3】 温度計を使って気温をはかります。

《20》

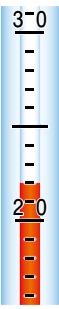
(1) 気温のはかり方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

① 温度計に日光が直せつ当たらないようにする。

② 地面から30cmくらいの高さではかる。

③ 風通しのよい場所ではかる。

(2) 右の図の温度計の目もりを読んで、温度を書きましょう。



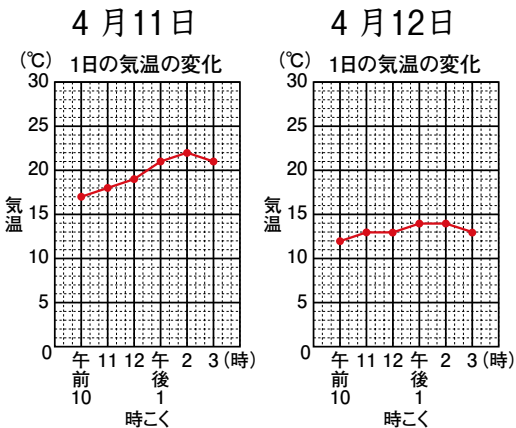
(1)	①	
■	②	
	③	
(2)		℃
■		

【4】 午前10時から午後3時までの^{へんか}気温の変化を、2日間調べてグラフにまとめました。2日のうち、1日は晴れ、1日はくもりでした。

《25》

(1) 「晴れ」と「くもり」のちがいは空全体の何の^{りょう}量で決まるか、書きましょう。

(2) 4月11日と12日の天気について、下の文の() にあてはまる言葉を書きましょう。



(1)		
■		
(2)	①	
	②	
	③	
	④	

11日の天気は (①) で、12日の天気は (②) だと考えられます。

なぜなら、11日の方が12日よりも全体的に気温が (③) く、気温の (④) が大きいからです。

4 年	2 令8 理科	【大日本】 3 電池のはたらき P24～39, P223 【東 書】 4 電流のはたらき P38～49, P194	名	組	番	評 点	■知・技	思・判・表
			前					

《全問各5》

《50》

[1] かん電池，けん流計，モーターを使って，プロペラを回しました。

(1) けん流計の使い方として，正しいものには○，正しくないものには×をつけましょう。

- ① かん電池とけん流計だけをつないでもよい。
② はじめは切りかえスイッチを「電磁石（5 A）」がわに入れる。

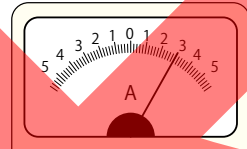
(2) けん流計の正しいつなぎ方はどれか，ア～エから2つえらび，記号を書きましょう。



(3) けん流計のはりが右の図のようにふれました。

次の①や②のときの目もりを読みましょう。

- ① スイッチが「電磁石（5 A）」がわのとき。
② スイッチが「まめ電球（0.5 A）」がわのとき。



(4) 電池や回路についてまとめた下の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

かん電池の（ ① ）極と（ ② ）極に，モーターのどう線をつなぐと，回路に電気が流れる。この電気の流れを（ ③ ）という。（③）には向きがあり，かん電池の（①）極からモーターを通して（②）極へ流れる。

(5) 右の図のように，プロペラの前に顔を出しましたが，モーターは回っているのに風が当たりませんでした。それはなぜか，「プロペラ」「向き」という言葉を使って書きましょう。

(6) (5)のとき，どうすれば顔に風が当たるようになるか，「かん電池」という言葉を使って書きましょう。

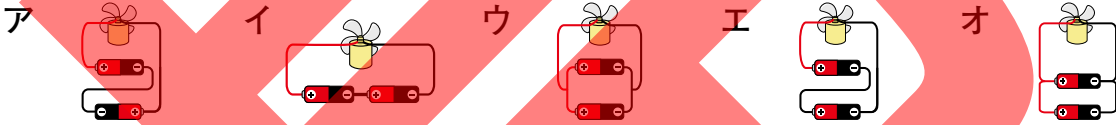


《30》

[2] かん電池の数やつなぎ方を変えて，モーターを回す実験をしました。

また，モーターに流れる電流の大きさをけん流計ではかりました。

(1) 下の図のア～オのうち，直列つなぎの回路とへい列つなぎの回路を正しくつないでいるものをすべてえらび，記号を書きましょう。

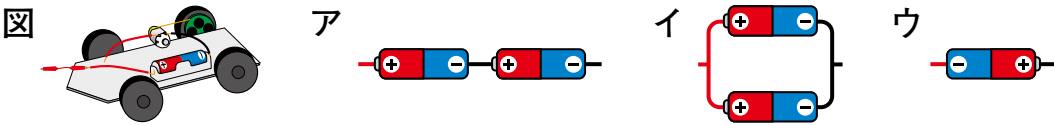


(2) かん電池を1こから2こに変えて実験をしました。下の表の（ ）にあてはまる言葉を下の□からえらび，記号を書きましょう。（同じ記号を何回使ってもよい）

	モーターが回る速さ	モーターを流れる電流の大きさ
直列つなぎ	（ ① ）	（ ② ）
へい列つなぎ	（ ③ ）	（ ④ ）

ア かん電池1 このときより速い イ かん電池1 このときと同じ
ウ かん電池1 このときよりおそい エ かん電池1 このときより大きい
オ かん電池1 このときより小さい

[3] 下の図のようなモーターカーを作りました。



(1) 車の進む向きを変えたいと思います。どのように直したらよいか，上のア～ウからえらび，記号を書きましょう。また，それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

(2) 車をもっと速く進むようにしたいと思います。どのように直したらよいか，上のア～ウからえらび，記号を書きましょう。また，それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

(1)	①	
	②	
(2)		
(3)	①	A
	②	A
(4)	①	
	②	
	③	
(5)		
(6)		

(1)	直列	
	へい列	
(2)	①	②
	③	④

(1)	記号	
	理由	
(2)	記号	
	理由	

《20》

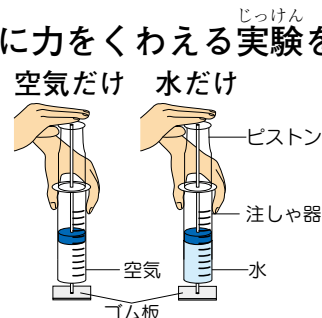
4 年	3 令8 理科	【大日本】 4 とじこめた空気や水 P40～51 【東 書】 8 とじこめた空気と水 P110～119	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
			前						

《全問各5》
《35》

[1] 注し器とピストンを使って、とじこめた空気や水に力をくわえる実験をしました。

(1) 実験のしかたについて、正しいものには○、
正しくないものには×をつけましょう。

- ① ピストンを両手で持って、すばやくおす。
- ② ピストンは真下に向かってまっすぐにおす。
- ③ 体積が変わるようすが分かるように、おしこむ前に、ピストンの位置の目もりを読む。



(2) 実験の結果をまとめました。下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

とじこめた空気をおすと、体積は (①) なる。ピストンの位置が下がるほど、おし返す力は (②) なる。おしてから手をはなすと、ピストンの位置は (③) 。

水をとじこめて力をくわえても、水の体積は (④) 。

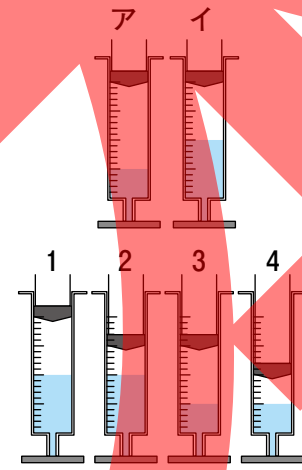
(1)	①	
	②	
	③	
(2)	①	
	②	
	③	
	④	

[2] 下の図のように、注し器の中に空気と水をとじこめてピストンを強くおしました。

《25》

- (1) ピストンがより下まで下がるのは、右の図のア、イのうちどちらですか。記号を書きましょう。
- (2) (1)の結果になる理由を説明した下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

とじこめた (①) は、強くおすと元の体積より (②) なるが、とじこめた (③) は強くおしても体積は元のままで変わらない。そのため、(①) の量が多い方が、より下までピストンが下がる。



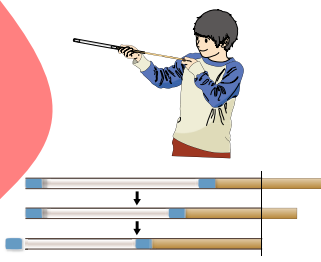
(1)	①	
	②	
	③	
(2)	①	
	②	
(3)	①	
	②	

(3) 図のイのピストンをおすと、1～4のうちどのようになりますか。番号を書きましょう。

[3] つつのりょうがわにせんをして、下の図のような空気でっぽうを作りました。かたほうのせんをぼうでおすと、反対がわのせんがとび出しました。このことを説明した次の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

《20》

ぼうでおすと、つつの中の空気の体積が (①) なり、(②) して体積が (③) になって、せんがとび出す。ゆっくりおすよりも速くおした方が、せんは (④) とび出す。



- ア 小さく
- イ 大きく
- ウ そのままでいようと
- エ 元にもどろうと
- オ いきおいよく
- カ ゆっくりと

①	
②	
③	
④	

[4] 身の回りだとじこめた空気や水がどのように役立っているか考えます。

《20》

- (1) 自転車や自動車のタイヤには、ゴムが使われています。その理由を説明した次の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

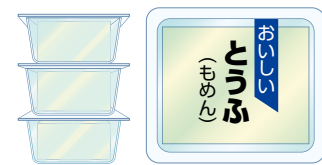
タイヤのゴムの中には、(①) がとじこめてある。そのため、地面のでこぼこにぶつかっても、タイヤの中の (①) が (②) ので、ショックをやわらげてくれる。



- ア 空気
- イ 水
- ウ ふくらむ
- エ ちぢむ

- (2) どうふの入れものには、やわらかいどうふがくずれないようにするくふうがあります。それを説明した次の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

どうふの入れものには、(①) が入っている。とじこめられた (①) は、(②) ので、入れものがへこんでどうふがくずれるのをふせぐことができる。



- ア 空気
- イ 水
- ウ 力をくわえると体積が変わる
- エ 力をくわえても体積が変わらない

4 年	4 令8 理科	【大日本】 5 雨水のゆくえ P 72～93 【東 書】 5 雨水のゆくえと地面のようす P 50～61 7 自然のなかの水のすがた P 92～101	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
			前						／70

《全問各5》
《45》

【1】 雨水の流れと、水のしみこみ方について調べました。

- (1) 雨水の流れについてまとめました。下の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

雨水は、（ ① ）ところから（ ② ）ところへ流れます。そして、
最も（ ② ）ところにたまります。

- (2) 校庭とすな場で、水のしみこみ方にちがいがあるのか調べました。下の図は、それぞれの土やすなを虫めがねで観察したものです。水のしみこみ方の実験の結果をまとめた次の表の（ ）にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。

校庭	すな場	校庭の土	すな場
		つぶの大きさ （ ① ）	（ ② ）
		しみこむ速さ （ ③ ）	（ ④ ）
ア 小さい イ 大きい ウ おそい エ 速い			

- (3) 駅のホームや道路は、水平ではなく外側に向かって少しかたむけて作られていることがあります。その理由を、「雨水」という言葉を使って書きましょう。
- (4) 雨がやんだ後で運動場を見ると、水たまりができている場所とできていない場所がありました。水たまりができていた場所は、ほかの場所とくらべてどんな場所だと考えられますか。2つ書きましょう。

(1)	①			
	②			
(2)	①		②	
	③		④	
(3)				
(4)				

【2】 夏の暑い日に氷水を入れたコップを部屋に置き、観察しました。

このことを説明した下の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

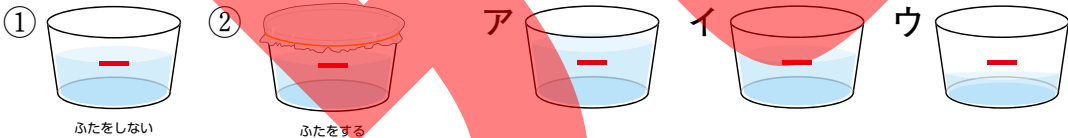
氷水の入ったコップを部屋に置くと、コップの表面に（ ① ）がつかまりました。このように、空気中の（ ② ）が、冷たいものにふれて、ものの表面で（ ① ）になることを（ ③ ）といいます。

■	①	
	②	
	③	

《15》

【3】 2つの水そうに同じ量の水を入れて、水面の位置にしるしをつけました。一方にラップをかぶせて日当たりのよい場所に置いておきました。

- (1) 2, 3日後にようすを見ると、①, ②それぞれの水の水面はどうなっているか、下のア～ウからそれぞれえらび、記号を書きましょう。



- (2) このことを説明した下の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

水は、空気中に出ていきます。このとき、水は目に（ ① ）すがたに変わります。空気中の目に（ ① ）すがたの水のことを、（ ② ）といいます。このように、水が水面や地面から（ ② ）にすがたを変えて空気中に出ていくことを、（ ③ ）といいます。

(1)	①	
	②	
(2)	①	
	②	
	③	
(3)		

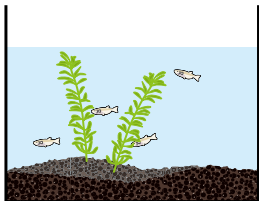
《30》

- (3) 右の図のように、水をまいた地面の上にプラスチックのカップをしばらく置きました。プラスチックのカップの内側のようすはどうなりますか。



【4】 ふたのない水そうでメダカを育てていました。

- (1) 水そうのそうじや水かえをしないまま、何日かたちました。水そうの中の水の量は怎么样了、書きましょう。
- (2) (1)のように答えた理由を書きましょう。



(1)	
(2)	

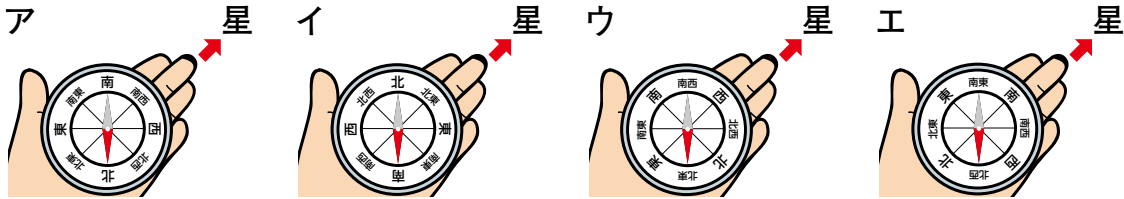
《10》

4 年	5 令8 理科	【大日本】 夏 星の明るさや色 夏の終わり P 52～57 P 58～65 P 68～71, P 222 【東 書】 暑くなると 夏の星 P 62～69 P 70～75, P 189	名	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
			前						
								/75	/25

《全問各5》
《15》

【1】 見つけた星の方位を調べます。

- (1) 下の図のような、方位を調べる道具の名前を書きましょう。
(2) 下のア～エのうち、星の方位を正しく調べているものをえらび、記号を書きましょう。



- (3) (2)と答えた理由を書きましょう。

(1)	
(2)	
(3)	

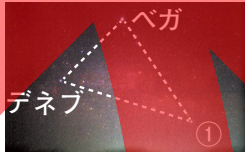
【2】 夏の夜空に見える星について観察しました。

- (1) 下の文について、正しいものには○，正しくないものには×をつけましょう。

- ① 星は、西の空にしか見えない。
② 1等星と2等星では、1等星の方が明るい。
③ 色は、星によってちがう。
④ 明るさは、どの星でも同じだ。

- (2) 東の空にならんだ3つの明るい星を見つけました。

- ① 右の写真の①の星の名前を書きましょう。
② この3つならんだ明るい星をまとめて何といいますか。



(1)	①		②	
	③		④	
(2)	①			
	②			

【3】 次の動物や植物の夏のようすは、春とくらべてどのように変わっていますか。

下の表の絵を手がかりにして、表の()にあてはまる言葉を書きましょう。

	サクラ	ツルレイシ・ヘチマ	オオカマキリ	カエル
春	 花がさいている。	 芽が出て、少しずつ葉がふえてきた。	 オオカマキリの(③)がたまごからたくさん出てきた。	 うまれたばかりで、まだ(⑥)のじょうたいだった。
夏	 (①)がふえている。	 くきがのびていて、(②)がさいていた。	 体の色は(④)になり、体の大きさが(⑤)になっていた。	 足が生えて、体が大きくなっていた。水中からりくにあがっていた。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	

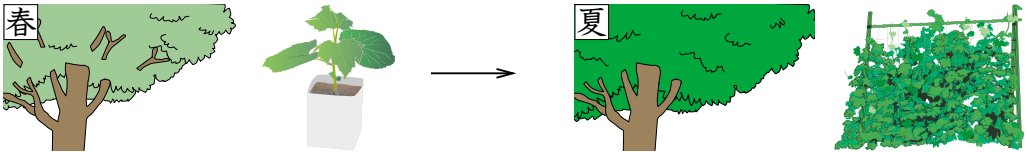
【4】 夏の動物や植物についてまとめました。

- (1) 次の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

夏になると、春とくらべて気温が(①)。動物は、活動が(②)なり、数が(③)。

ア 上がる イ 下がる ウ さかんに エ にぶく オ ふえる カ へる

- (2) 植物は、夏になると春とくらべてどのように変わっていますか。下の絵を手がかりにして、2つ書きましょう。



(1)	①	
	②	
	③	
(2)		

4 年	6 令8 理科	【大日本】 6 月と星の位置の変化 秋 P94~109 P128~133 【東 書】 6 月や星の見え方 すずしくなると P78~91, P189 P102~109	名 前	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
								/45	/55

《全問各5》
《40》

[1] 時間がたつと月の位置がどのように変わるのか調べるために、月の観察をしました。

- (1) 観察カードには、どのようなことが分かるようにかくとよいですか。観察カードにかくとよいことを、下のア～カから3つえらび、記号を書きましょう。

ア 月の形 イ 天気 ウ 気温 エ 月の方角
オ 見つけた生き物 カ 観察した時こく

- (2) 右の①や②のような月を見つけました。
それぞれの月の名前を書きましょう。
- (3) 観察から分かったことをまとめた下の文の
() にあてはまる方位を書きましょう。

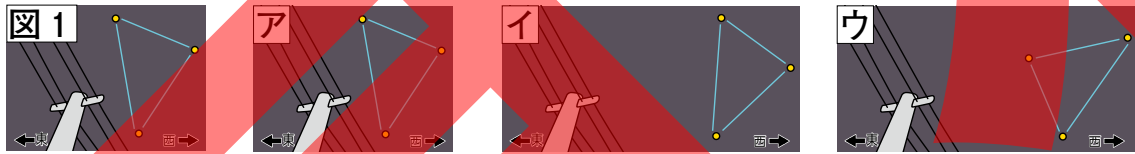
月の位置は、時間がたつと、(①) から、(②) を通って、
(③) へと変わります。

(1)		
■		
(2)	①	
	②	
(3)	①	
■	②	
	③	

[2] 時間がたつと、星や星ざの位置やならび方がどのように変わるのか調べるために、星の観察をしました。

《20》

- (1) ある日時の星ざを調べました。右の星ざ早見を使って20時の星ざを調べたとすると何月何日か、
書きましょう。
- (2) 図1は午後7時(19時)に見た夏の大三角です。2時間後にもう一度観察したときの星ざの位置やならび方は、どのように変わっていますか。下の図のア～ウからえらび、記号を書きましょう。



- (3) (2)になる理由を説明した下の文の() にあてはまる言葉を書きましょう。

星や星ざは、時間がたつと、(①) は変わりますが、(②) は変わらないからです。

(1)	月 日	
■		
(2)		
(3)	①	
	②	

[3] 次の動物や植物の秋のようすは、夏とくらべてどのように変わっていますか。下の表の絵を手がかりにして、表の() にあてはまる言葉や文を書きましょう。

《20》

	サクラ	オオカマキリ
夏	こい緑色の葉がふえている。 	緑色になり、からだが大きくなっていた。
秋	葉の色が(①), かれて葉が(②)。 	おながが(③) いるので、もうすぐ(④) と思う。

①	
②	
③	
④	

[4] 秋の動物や植物についてまとめました。次の文の() にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。

《20》

秋になると、夏とくらべて気温が(①)。動物は、活動がにぶくなって、すがたや活動のようすを見られることが(②)。植物には、(③) ができて、その中に(④) ができる。

ア 下がる イ 上がる ウ へる エ ふえる
オ 実 カ 葉 キ くき ク たね

①	
②	
③	
④	

4 年	7 令8 理科	【大日本】 7 わたしたちの体と運動 P110～127 【東 書】 2 動物のからだのつくりと運動 P16～29	名 前	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
								/25	/25

《全問各5》
《15》

【1】 自分のうでをさわって気づいたことをまとめました。次の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

うでの中には、いつもかたい部分と、やわらかく、力を入れるとかたくなる部分がある。いつもかたい部分を（ ① ）といい、やわらかい部分を（ ② ）という。
うでの曲がる部分には、（①）のつなぎ目があり、その曲がる部分を（ ③ ）という。

■	①	
	②	
	③	

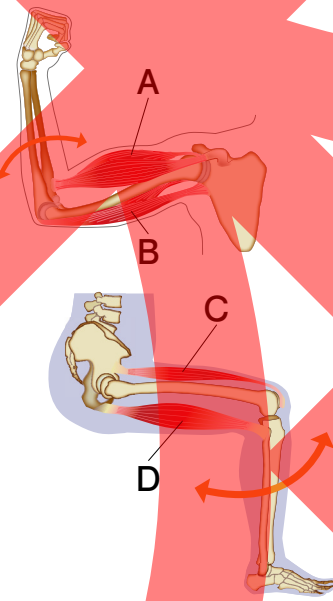
【2】 人やウサギのきん肉について調べました。

《25》

(1) 右の図のようにひじやひざの曲がり方についてまとめました。次の文の（ ）にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。（同じ記号を何回使ってもよい）

- ・ ひじをのばすとき、Aのきん肉は（ ① ）。
- ・ ひじを曲げるとき、Bのきん肉は（ ② ）。
- ・ ひざをのばすとき、Cのきん肉は（ ③ ）。
- ・ ひざを曲げるとき、Dのきん肉は（ ④ ）。

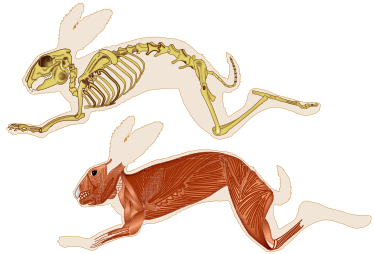
ア ゆるむ イ ちぢむ



(1)	①	
	②	
	③	
	④	
(2)	前あし・後ろあし	

(2) ウサギのからだのつくりについてまとめました。次の文の（ ）の中の正しい言葉をえらび、かい答らん^{はったつ}に○をつけましょう。

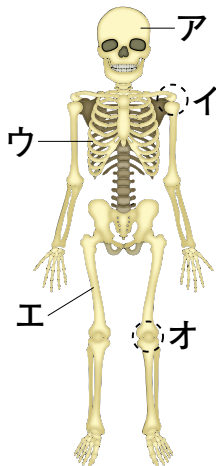
ウサギは、（前あし・後ろあし）のきん肉が発達している。そのため、はねるように走ることができる。



【3】 右の図は、人のからだのほねのようすです。

《10》

- (1) 心ぞうやはいを守っているほねはどこか、図の ア～オ からえらび、記号を書きましょう。
- (2) ほねには、(1)のように、からだの中のものを守るやくわりがあります。ほねには、他にどのようなやくわりがあるか書きましょう。



(1)	■	
(2)	■	

★ ^{じゅ}授業の中で学んだことを書きましょう。

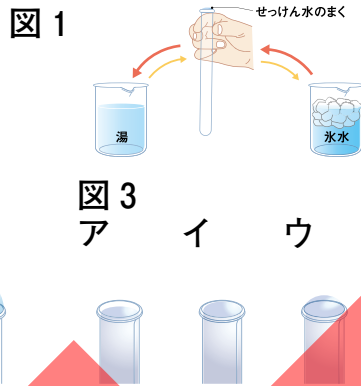
4	8	【大日本】 8 ものの温度と体積 P134～151, P224 【東 書】 9 物の体積と温度 P120～133, P192	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
年	令8 理科						/70	/30

《全問各5》
《50》

[1] 空気や水の温度と体積の関係を調べる実験をしました。
先生の指示にしたがって、A、Bどちらかをえらび、次の問いに答えましょう。

A (1) 試験管の口にせっけん水のまくをつけて、図1のようにしました。あたためたり冷やしたりしたときの、せっけん水のまくのようすを図2のア～ウからえらび、記号を書きましょう。

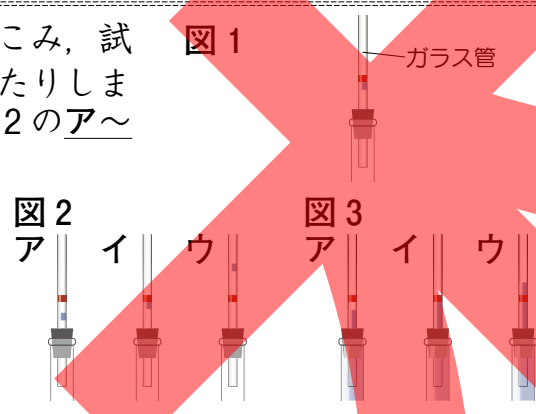
(2) 試験管に水をいっぱいまで入れて、図1のようにしました。あたためたり冷やしたりしたときの、試験管の中の水面を、図3のア～ウからえらび、記号を書きましょう。



(1)	あたためたとき	
	冷やしたとき	
(2)	あたためたとき	
	冷やしたとき	
(3)	①	
	②	
	③	
	④	
	⑤	
	⑥	

B (1) 図1のようなそうちを試験管にさしこみ、試験管の中の空気をあたためたり冷やしたりしました。ガラス管の中の水のようすを図2のア～ウからえらび、記号を書きましょう。

(2) 水を満した試験管に図1のようなそうちをさしこみました。試験管の中の水をあたためたり冷やしたりしたときの、ガラス管の中の水のようすを、図3のア～ウからえらび、記号を書きましょう。



(3) この実験からいえることをまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

空気の体積は、あたためられると (①) なり、冷やされると (②) なる。水の体積は、あたためられると (③) なり、冷やされると (④) なる。また、(⑤) よりも (⑥) の方が、体積の変わり方が大きい。

ア 小さく イ 変わらないままに ウ 大きく エ 空気 オ 水

[2] 金ぞくの温度と体積の変わり方を調べました。

《35》

(1) 実験用ガスこんろの使い方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

① つまみを回して火がつかなかったらそのまま待つ。

② ガスこんろは平らで安定した場所に置く。

③ ガスボンベを外した後、もう一度つまみを「点火」まで回して、中に残ったガスをもやす。

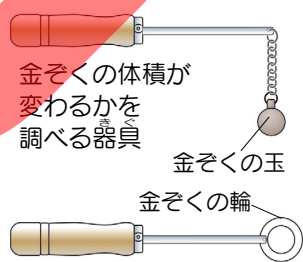
(2) 右の図のような道具を使い、金ぞくの玉を輪に通すと、玉はすれすれで輪を通りぬけました。その後、金ぞくの玉を熱して、通りぬけるかたしかめました。

① 金ぞくの玉を熱した後、玉は、輪を通りぬけますか。正しい方をえらび、かい答らん()に○をつけましょう。

② ①の理由を「体積」という言葉を使って、書きましょう。

(3) (2)の実験のあと、金ぞくの玉を水で冷やしました。金ぞくの玉は、輪を通りぬけますか。正しい方をえらび、かい答らん()に○をつけましょう。

(4) 水、空気、金ぞくで体積の変わり方が大きいじゅんにならべて書きましょう。



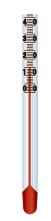
(1)	①	
	②	
	③	
(2)	①	通りぬける・通りぬけない
	②	
(3)		通りぬける・通りぬけない
(4)		→
		→

[3] ものの体積と温度の関係がわたしたちの生活にどのようにかかわっているか考えます。

《15》

(1) 温度計についてまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

右のような温度計には中に赤いえきが入った管があります。温度計は、(①) によってえきの (②) が変わるせいしつを利用しています。



(2) 鉄道のレールや橋は、右の絵のように、つなぎ目にすき間をあけています。その理由を書きましょう。



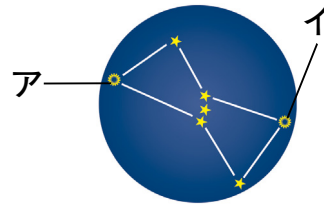
(1)	①	
	②	
(2)		

4 年	9 令8 理科	【大日本】 冬の星 冬 P 152～155 P 156～169, P 227 【東 書】 冬の星 寒くなると P 148～151 P 152～157, P 174～179, P 189	名 前	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
								／75	／25

《全問各5》
《40》

【1】 冬の星ざや星の動きについて、^{かんさつ}観察をしました。

- (1) 右の星ざの名前を書きましょう。
- (2) 右のア、イの星の名前を書きましょう。
- (3) 冬の星ざや星の動きについて、正しいものは○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 星ざを形づくる星は、すべて白色である。
- ② 星ざを形づくる星は、星によって明るさがちがう。
- ③ 冬でも、夏と同じ時こくであれば、夏と同じ星ざが見える。
- ④ 冬の星ざは、時間がたつと見える位置が^い変わる。
- ⑤ 冬の星ざは、時間がたつと星の^ならびが変わる。

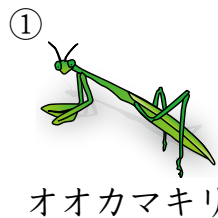


(1)	■	ざ
(2)	■	ア
		イ
		①
		②
(3)	■	③
		④
		⑤

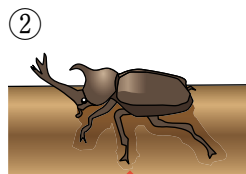
【2】 下の①～④の動物や植物は、どのようなすがたで冬をこすでしょう。下の

《20》

からえらび、記号を書きましょう。



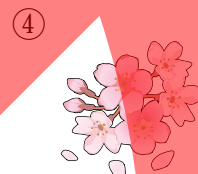
オオカマキリ



カブトムシ



ヒキガエル



サクラ

	①	
	②	
■	③	
	④	

ア たまごのすがた イ よう虫のすがた ウ ^{せいぢゆう}成虫のすがた エ おたまじゃくしのすがた
オ カエルのすがた カ 葉がしげったすがた キ 花がさいたすがた ク えだと芽だけのすがた

【3】 1年の^{きせつ}季節の^かうつり変わりについて調べました。

《40》

- (1) 季節のうつり変わりについてまとめました。() にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。

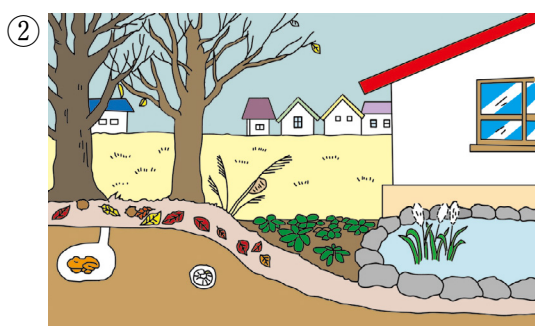
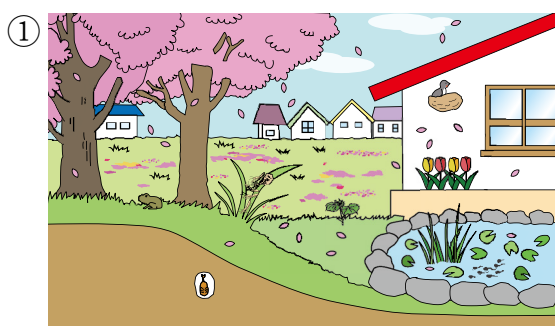
あたたかい季節になると、(①) は活動が活発になり、(②) はよく成長する。寒い季節になると、(①) は活動がにぶくなり、(②) のようすはほとんど変化しない。
生物のようすは、季節の変化によってちがいが (③) 。

ア 植物 イ 動物 ウ ある エ ない

- (2) 下はツルレイシの図です。ア～エを春から冬の順になるようにならべかえ、記号を書きましょう。



- (3) 次の①、②の絵は、春、夏、秋、冬のどの季節を表しているでしょう。また、そのように考えた理由を、生物のようすをもとに書きましょう。



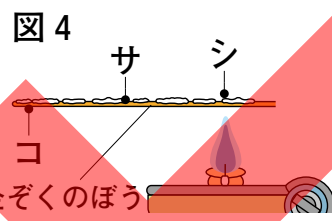
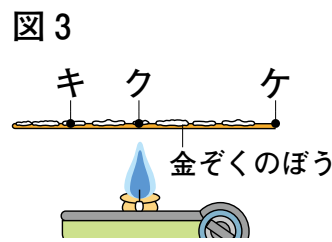
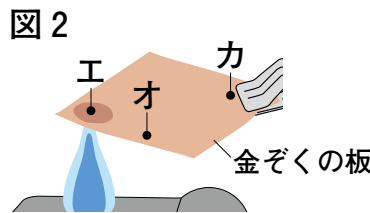
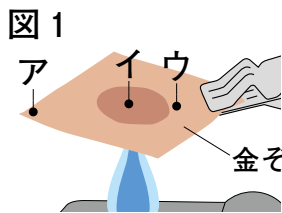
(1)	■	①	
		②	
		③	
(2)		→ → →	
	①	季節	
		理由	
(3)	②	季節	
		理由	

4 年	10 令8 理科	【大日本】 9 もののあたたまり方 P170～185, P220 【東 書】 10 物のあたたまり方 P134～147, P188	名	組	番	評		■知・技	思・判・表
			前			点			/50

《全問各5》
《25》

[1] 金ぞくのあたたまり方について調べました。

- (1) 金ぞくのぼうや板にろうをぬり、熱しました。下の図1～図4で3か所のろうが、とけるのが早い方から順にそれぞれア～シの記号を書きましょう。



(1)	図1	→	→
	図2	→	→
	図3	→	→
	図4	→	→
(2)			

- (2) 金ぞくのあたたまり方について、() にあてはまる言葉を書きましょう。

金ぞくは、() ところから順にあたたまっていき、やがて全体があたたまる。

[2] 水の入った試験管の中に示温インクを入れ、水のあたたまり方を調べました。

《30》

- (1) 実験をするときに気をつけることについて、正しいもの 図1 には○、正しくないものには×をつけましょう。

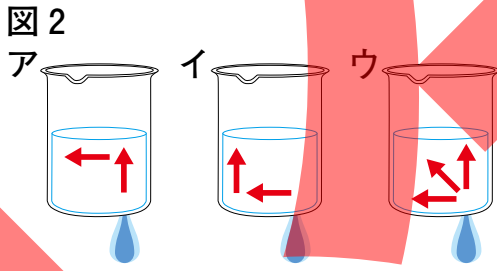
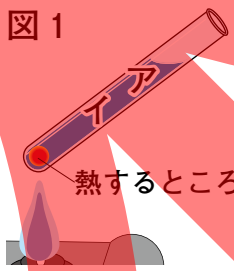
- ① 水の動きが見にくくなってしまうので、ほごめがねはかけない方がよい。
② 実験に使った道具は、冷めるまでさわってはいけない。

- (2) 図1のように、ガスこんろで試験管を熱しました。水のあたたまる順に記号を書きましょう。

- (3) 図2のように、ビーカーの中に水を入れ、熱しました。あたためられた水はどのような動きになりますか。ア～ウからえらび、記号を書きましょう。

- (4) 水のあたたまり方をまとめました。() の中の正しい言葉をえらび、かい答らんに○をつけましょう。

あたためられた水は、① (上 ・ 真ん中 ・ 下) の方へ動く。このようにして、水は② (一部分 ・ 全体) があたたまっていく。



(1)	①	
	②	
(2)		→
(3)		
(4)	①	上 ・ 真ん中 ・ 下
	②	一部分 ・ 全体

[3] 部屋のエアコンでだんぼうをつけています。

《40》

- (1) この部屋のゆかの近くと天井の近くで温度を計ると図1のア、イのようになりました。ア、イの温度はそれぞれ何度ですか。

- (2) 天井の近くの温度はア、イのどちらか、記号を書きましょう。

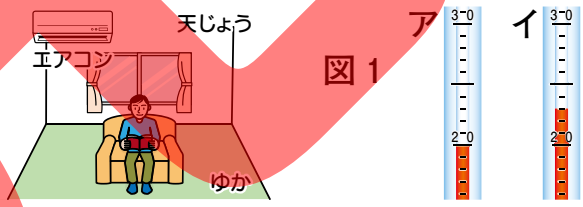
- (3) 空気のあたたまり方についてまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

空気は、(①) と同じように、熱したところの空気が (②) 。かわりに上の冷たい空気が (③) 。このように空気が動くことによって全体があたたまる。

ア 金ぞく イ 水 ウ 上に動く エ 下に動く

- (4) エアコンで部屋をあたためるとき、部屋全体をより早くあたためるには、ふき出し口を上と下、どちらに向けたらよいでしょうか。かい答らんの正しい方に○をつけましょう。

- (5) (4)のように考えた理由を書きましょう。



(1)	ア		℃
	イ		℃
(2)			
(3)	①		
	②		
	③		
(4)		上 ・ 下	
(5)			

[4] 熱気球がうかぶ理由について、正しいものはどれか、下のア～ウからえらび、記号を書きましょう。《5》

- ア ガスバーナーのほのおがふき出す力で、気球をもちあげているから。
イ 気球の中で、空気が水じょう気(水蒸気)に変わるから。
ウ 気球の中の空気が、ガスバーナーであたためられ、上に上がろうとするから。

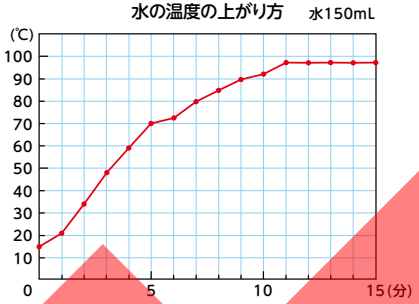
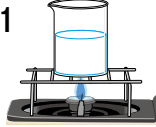
4 年	11 令8 理科	【大日本】 10 すがたを変える水 P 186～205 【東 書】 11 水のすがたと温度 P 158～173	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
			前						

《全問各5》
《35》

【1】 図1のように、水を熱して温度の変化を調べました。

- (1) 図1のビーカーの中に、熱い湯がふき出すのをふせぐために何を入れますか、書きましょう。
- (2) 実験結果を右のようにグラフにしました。次の①～③の文で、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 熱し始めて3分後には、60℃をこえた。
- ② 熱し始めて11分後には、水がふっとうし始めた。
- ③ 実験がおわった後、水の量がへっていた。
- (3) 水を熱し続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

図1



(1)	■	
(2)	■	①
		②
		③
(3)	■	①
		②
		③

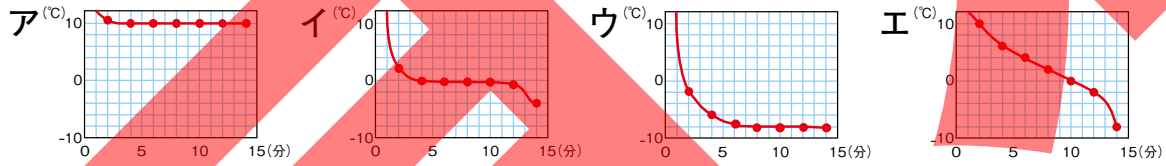
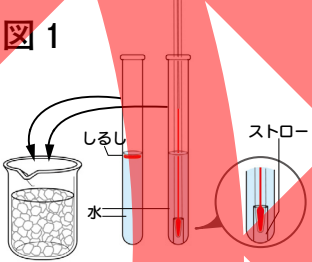
水は、熱し続けると (①) 近くまで温度が上がる。このとき中からさかんにあわが出てくる。このことを (②) という。水が (②) している間、水の温度は (③) 。

ア 100℃ イ 80℃ ウ じょう発 エ ふっとう オ 変わる カ 変わらない

【2】 図1のように試験管に水を入れ、冷やし続けました。

- (1) 温度計の先にストローをつけました。その理由を書きましょう。
- (2) さらに温度を下げるには、ビーカーの中に何を入れるとよいか、書きましょう。
- (3) 水の温度を2分ごとに調べ、グラフに表しました。このグラフとして正しいものを次のア～エからえらび、記号を書きましょう。

図1



- (4) 水を冷やし続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

水は冷やし続けると温度が下がり、(①) °Cになるとこおり始める。水がこおり始めてから、全部の水が氷になるまで、温度は (①) °Cのまま変わらない。全部の水が氷になった後は、温度が (②) 。水が氷になると、体積が (③) なる。

ア 0 イ 10 ウ 上がる エ 下がる オ 大きく カ 小さく

(1)	■	
(2)	■	
(3)		
(4)		①
		②
		③

《30》

【3】 図1、図2のように、水を熱したときに出てくるあわについて調べました。

- (1) はじめに図1のように、水を熱すると、あなから湯気が出ました。そこであなにガラスぼうを近づけると、水がつきました。湯気の正体は何だといえるかを、「湯気は」という書き出しに続けて書きましょう。
- (2) 次に、ビーカーのそこから出るあわを図2のようなそうちを使って集めました。ふっとうしているときは、ふくろがふくらみました。この後、熱するのをやめると、ふくろはどうか、書きましょう。
- (3) (2)のとき、ふくろの中にある変化が見られました。どのような変化が見られたか、書きましょう。

図1



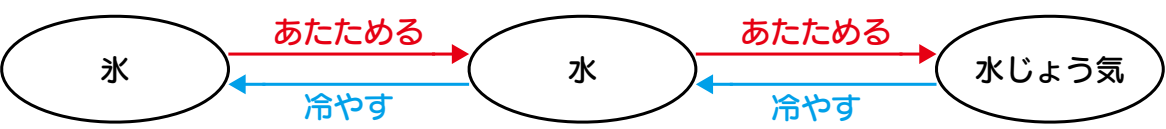
図2



	湯気は
(1)	
(2)	
(3)	

《15》

【4】 下の図のように水のすがたの変わり方についてまとめました。



- (1) 氷、水、水じょう気のようなすがたを、何というか。それぞれ書きましょう。
- (2) 氷、水、水じょう気のうち、目に見えないものはどれか、書きましょう。

	氷	
(1)	水	
	水じょう気	
(2)		

《20》

4 年	1 令8 理科	【大日本】春の始 ^{まり} 1 天気と気温 2 春 P4~5 P6~13 P14~23, P220~221 【東 書】1 あたたかくなると 3 天気と気温 P 6~15, P188 P30~37	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
							/65	/35

《全問各5》
(知識・技能)《35》

[1] 春の植物や動物について調べました。

(1) 春によく見られる植物や動物を、下のア〜クから4つえらび、記号を書きましょう。

ア ツバメ

イ ミンミンゼミ

ウ カブトムシ

エ ナナホシテントウ

オ オオハシノフグリの花

カ ヒマワリの花

キ サクラの花

ク ホウセンカの花

(1)	■	ア
		エ
		オ
		キ
(2)	■	① イ
		② ウ
		③ カ

(順不同)

(2) 春の植物や動物についてまとめました。() にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。

春になって (①) になると、新しい (②) を出したり、葉を広げたりする植物がふえる。また、たまごをうんだり、活動が (③) なったりする動物がふえる。

ア さむく イ あたたかく ウ 芽^め エ 実 オ にぶく カ さかんに

[2] ヘチマとツルレイシを育てます。

((1)知識・技能 (2)思考・判断・表現)《20》

(1) 右の図は、ヘチマとツルレイシのたねを^{かんさつ}観察してかいた絵です。ヘチマのたねはア、イのどちらか、記号を書きましょう。

(2) 観察カードに、植物の名前、観察した日時、場所、気温、天気、植物の絵をかきました。ほかに、植物のどのようなことを書くとよいか、3つ書きましょう。



(1)	■	イ
(2)	■	・くきの長さ(高さ) ・葉の数 ・葉の色 ・手ざわり などから3つ (教師判断)

[3] 温度計を使って気温をはかります。

(知識・技能)《20》

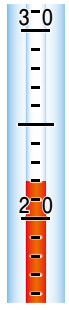
(1) 気温のはかり方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

① 温度計に日光が直せつ当たらないようにする。

② 地面から30cmくらいの高さではかる。

③ 風通しのよい場所ではかる。

(2) 右の図の温度計の目もりを読んで、温度を書きましょう。



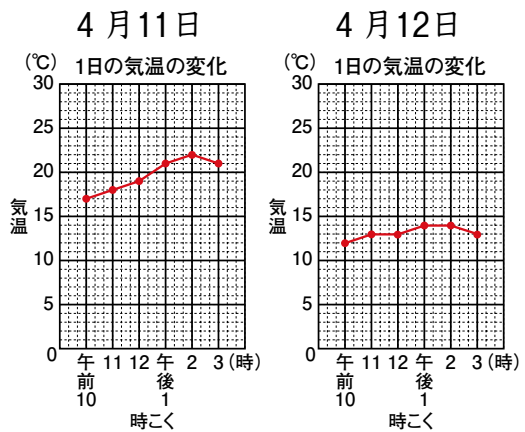
(1)	■	① ○
		② ×
		③ ○
(2)	■	22 ℃

[4] 午前10時から午後3時までの^{へんか}気温の変化を、2日間調べてグラフにまとめました。2日のうち、1日は晴れ、1日はくもりでした。

((1)知識・技能(2)思考・判断・表現)《25》

(1) 「晴れ」と「くもり」のちがいは空全体の何の^{りょう}量で決まるか、書きましょう。

(2) 4月11日と12日の天気について、下の文の() にあてはまる言葉を書きましょう。



11日の天気は (①) で、12日の天気は (②) だと考えられます。

なぜなら、11日の方が12日よりも全体的に気温が (③) く、気温の (④) が大きいからです。

(1)	■	雲
(2)	■	① 晴れ
		② くもり
		③ 高
		④ 変化(変わり方)

4 年	2 令8 理科	【大日本】 3 電池のはたらき P 24～39, P 223 【東 書】 4 電流のはたらき P 38～49, P 194	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
			前						／60

《全問各5》

[1] かん電池，けん流計，モーターを使って，プロペラを回しました。

((1)～(4)知識・技能 (5)(6)思考・判断・表現)《50》

- (1) けん流計の使い方として，正しいものには○，正しくないものには×をつけましょう。

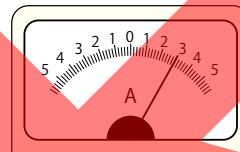
- ① かん電池とけん流計だけをつないでもよい。
② はじめは切りかえスイッチを「電磁石（5 A）」がわに入れる。

- (2) けん流計の正しいつなぎ方はどれか，ア～エから2つえらび，記号を書きましょう。



- (3) けん流計のはりが右の図のようにふれました。次の①や②のときの目もりを読みましょう。

- ① スwitchが「電磁石（5 A）」がわのとき。
② スwitchが「まめ電球（0.5 A）」がわのとき。



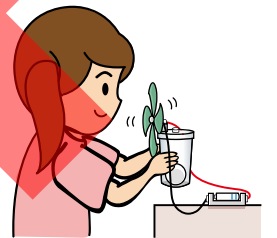
- (4) 電池や回路についてまとめた下の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

かん電池の（ ① ）極と（ ② ）極に，モーターのどう線をつなぐと，回路に電気が流れる。この電気の流れを（ ③ ）という。（③）には向きがあり，かん電池の（①）極からモーターを通して（②）極へ流れる。

- (5) 右の図のように，プロペラの前に顔を出しましたが，モーターは回っているのに風が当たりませんでした。それはなぜか，「プロペラ」「向き」という言葉を使って書きましょう。

- (6) (5)のとき，どうすれば顔に風が当たるようになるか，「かん電池」という言葉を使って書きましょう。

(1)	①	×
	②	○
(2)	ア，ウ(完答)	
(3)	①	3 (3.0) A
	②	0.3 A
(4)	①	＋ (プラス)
	②	－ (マイナス)
	③	電流
(5)	プロペラが反対向きに回っているから。 (教師判断)	
(6)	かん電池の向きを反対にする。(教師判断)	

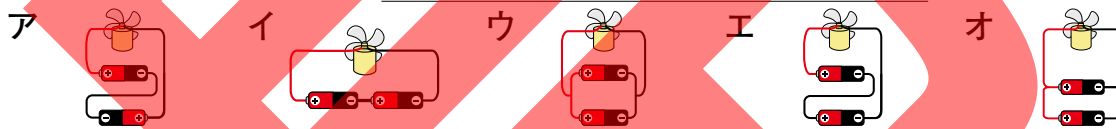


[2] かん電池の数やつなぎ方を変えて，モーターを回す実験をしました。

((1)思考・判断・表現 (2)知識・技能)《30》

また，モーターに流れる電流の大きさをけん流計ではかりました。

- (1) 下の図のア～オのうち，直列つなぎの回路とへい列つなぎの回路を正しくつないでいるものをすべてえらび，記号を書きましょう。



- (2) かん電池を1こから2こに変えて実験をしました。下の表の（ ）にあてはまる言葉を下の□からえらび，記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

	モーターが回る速さ	モーターを流れる電流の大きさ
直列つなぎ	(①)	(②)
へい列つなぎ	(③)	(④)

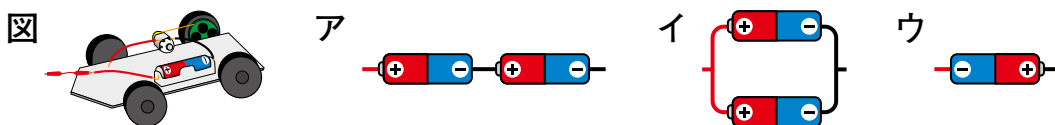
ア かん電池1 このときより速い イ かん電池1 このときと同じ
ウ かん電池1 このときよりおそい エ かん電池1 このときより大きい
オ かん電池1 このときより小さい

(1)	直列		イ・エ (完答)	
	へい列		ウ・オ (完答)	
(2)	①	ア	②	エ
	③	イ	④	イ

(思考・判断・表現)《20》

(1)	記号	ウ
	理由	(かん電池の向きを変えると)電流の向きが変わるから。 (教師判断)
(2)	記号	ア
	理由	(かん電池を直列にふやすと)流れる電流が大きくなるから。 (教師判断)

[3] 下の図のようなモーターカーを作りました。



- (1) 車の進む向きを変えたいと思います。どのように直したらよいか，上のア～ウからえらび，記号を書きましょう。また，それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

- (2) 車をもっと速く進むようにしたいと思います。どのように直したらよいか，上のア～ウからえらび，記号を書きましょう。また，それをえらんだ理由を「電流」という言葉を使って書きましょう。

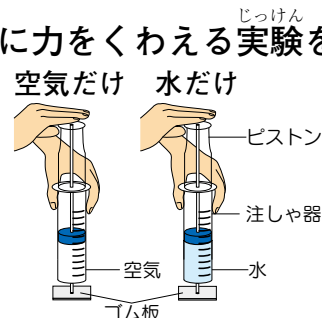
4 年	3 令8 理科	【大日本】 4 とじこめた空気や水 P40～51 【東 書】 8 とじこめた空気と水 P110～119	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
							/50	/50

《全問各5》

[1] 注し器とピストンを使って、とじこめた空気や水に力をくわえる実験をしました。(知識・技能)《35》

(1) 実験のしかたについて、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

- ① ピストンを両手で持って、すばやくおす。
- ② ピストンは真下に向かってまっすぐにおす。
- ③ 体積が変わるようすが分かるように、おしこむ前に、ピストンの位置の目もりを読む。



(2) 実験の結果をまとめました。下の文の()にあてはまる言葉を書きましょう。

とじこめた空気をおすと、体積は(①)なる。ピストンの位置が下がるほど、おし返す力は(②)なる。おしてから手をはなすと、ピストンの位置は(③)。

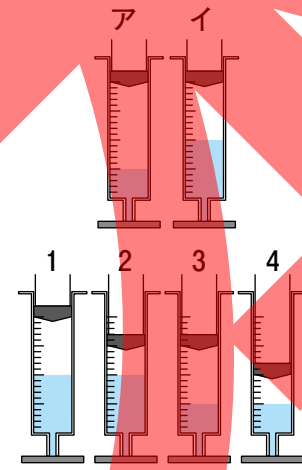
水をとじこめて力をくわえても、水の体積は(④)。

(1)	①	×
	②	○
	③	○
(2)	①	小さく
	②	大きく
	③	元にもどる(上がる)
	④	変わらない

[2] 下の図のように、注し器の中に空気と水をとじこめてピストンを強くおしました。(2)知識・技能 (1)(3)思考・判断・表現 《25》

- (1) ピストンがより下まで下がるのは、右の図のア、イのうちどちらですか。記号を書きましょう。
- (2) (1)の結果になる理由を説明した下の文の()にあてはまる言葉を書きましょう。

とじこめた(①)は、強くおすと元の体積より(②)なるが、とじこめた(③)は強くおしても体積は元のままで変わらない。そのため、(①)の量が多い方が、より下までピストンが下がる。

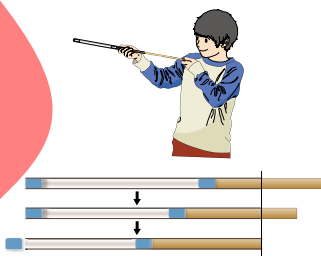


(1)		ア
(2)	①	空気
	②	小さく
	③	水
(3)		2

- (3) 図のイのピストンをおすと、1～4のうちどのようになりますか。番号を書きましょう。

[3] つつのりょうがわにせんをして、下の図のような空気でっぽうを作りました。かたほうのせんをぼうでおすと、反対がわのせんがとび出しました。このことを説明した次の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。(思考・判断・表現)《20》

ぼうでおすと、つつの中の空気の体積が(①)なり、(②)して体積が(③)なって、せんがとび出す。ゆっくりおすよりも速くおした方が、せんは(④)とび出す。



- ア 小さく
- イ 大きく
- ウ そのままでいようと
- エ 元にもどろうと
- オ いきおいよく
- カ ゆっくりと

①	ア
②	エ
③	イ
④	オ

[4] 身の回りでとじこめた空気や水がどのように役立っているか考えます。(思考・判断・表現)《20》

- (1) 自転車や自動車のタイヤには、ゴムが使われています。その理由を説明した次の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

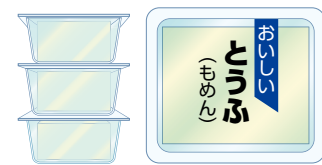
タイヤのゴムの中には、(①)がとじこめてある。そのため、地面のでこぼこにぶつかっても、タイヤの中の(①)が(②)ので、ショックをやわらげてくれる。



- ア 空気
- イ 水
- ウ ふくらむ
- エ ちぢむ

- (2) どうふの入れものには、やわらかいどうふがくずれないようにするくふうがあります。それを説明した次の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

どうふの入れものには、(①)が入っている。とじこめられた(①)は、(②)ので、入れものがへこんでどうふがくずれるのをふせぐことができる。



- ア 空気
- イ 水
- ウ 力をくわえると体積が変わる
- エ 力をくわえても体積が変わらない

4 年	4 令8 理科	【大日本】 5 雨水のゆくえ P 72～93 【東 書】 5 雨水のゆくえと地面のようす P 50～61 7 自然のなかの水のすがた P 92～101	名	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
			前					／70	／30

《全問各5》

[1] 雨水の流れと、水のしみこみ方について調べました。

《(1)(2)知識・技能 (3)(4)思考・判断・表現》《45》

- (1) 雨水の流れについてまとめました。下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

雨水は、(①) ところから (②) ところへ流れます。そして、
最も (②) ところにたまります。

- (2) 校庭とすな場で、水のしみこみ方にちがいがあるのか調べました。下の図は、それぞれの土やすなを虫めがねで観察したものです。水のしみこみ方の実験の結果をまとめた次の表の () にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。

校庭	すな場		校庭の土	すな場
		つぶの大きさ	(①)	(②)
		しみこむ速さ	(③)	(④)
		ア 小さい イ 大きい ウ おそい エ 速い		

(1) ■	①	高い	
	②	低い	
(2) ■	①	ア	② イ
	③	ウ	④ エ
(3)	雨水を外側に流して、 水がたまらないように するため。 (教師判断)		
(4)	低い		
	砂や土のつぶが小さい		

(順不同)

- (3) 駅のホームや道路は、水平ではなく外側に向かって
少しかたむけて作られていることがあります。その理
由を、「雨水」という言葉を使って書きましょう。



- (4) 雨がやんだ後で運動場を見ると、水たまりができている場所とできていない場所がありました。水たまりができていた場所は、ほかの場所とくらべてどんな場所だと考えられますか。2つ書きましょう。

[2] 夏の暑い日に氷水を入れたコップを部屋に置き、観察しました。

《(知識・技能)》《15》

このことを説明した下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

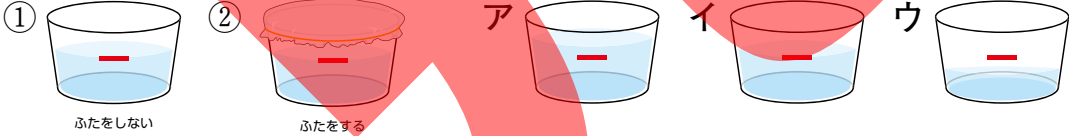
氷水の入ったコップを部屋に置くと、コップの表面に (①) がつき
ました。このように、空気中の (②) が、冷たいものにふれて、もの
の表面で (①) になることを (③) といいます。

■	①	水 (水てき)
	②	水じょう気
	③	結ろ

[3] 2つの水そうに同じ量の水を入れて、水面の位置にしるしをつけました。一方にラップをかぶせて日当たりのよい場所に置いておきました。

《(1)(2)知識・技能 (3)思考・判断・表現》《30》

- (1) 2, 3日後にようすを見ると、①, ②それぞれの水の水面はどうなっているか、下のア～ウからそれぞれえらび、記号を書きましょう。



- (2) このことを説明した下の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

水は、空気中に出ていきます。このとき、水は目に (①) すがた
に変わります。空気中の目に (①) すがたの水のことを、(②) と
いいます。このように、水が水面や地面から (②) にすがたを変えて
空気中に出ていくことを、(③) といいます。

(1) ■	①	ウ
	②	イ
(2) ■	①	見えない
	②	水じょう気
	③	じょう発
(3)	水てきがつく。 (教師判断)	

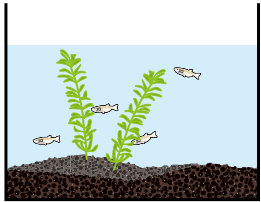
- (3) 右の図のように、水をまいた地面の上にプラスチックのカップをしばらく置きました。プラスチックのカップの内側のようすはどうなりますか。



[4] ふたのない水そうでメダカを育てていました。

《(思考・判断・表現)》《10》

- (1) 水そうのそうじや水かえをしないまま、何日
かたちました。水そうの中の水の量はどうな
っているか、書きましょう。
- (2) (1)のように答えた理由を書きましょう。



(1)	へっている
(2)	水そうの中の水がじょう発し たから。 (教師判断)

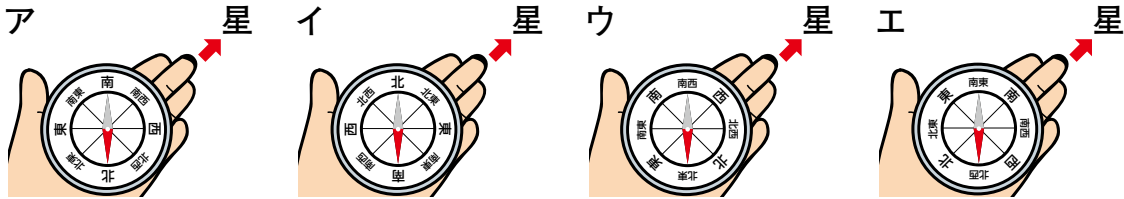
4 年	5 令8 理科	【大日本】 夏 星の明るさや色 夏の終わり P 52~57 P 58~65 P 68~71, P 222 【東 書】 暑くなると 夏の星 P 62~69 P 70~75, P 189	名	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
			前						
							/75	/25	

《全問各5》

[1] 見つけた星の方位を調べます。

(知識・技能)《15》

- (1) 下の図のような、方位を調べる道具の名前を書きましょう。
(2) 下のア～エのうち、星の方位を正しく調べているものをえらび、記号を書きましょう。



- (3) (2)と答えた理由を書きましょう。

(1)	■	方位じしん
(2)	■	ア
(3)	■	色がついたはりが、北をさしているから。 (教師判断)

[2] 夏の夜空に見える星について観察しました。

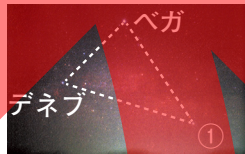
(知識・技能)《30》

- (1) 下の文について、正しいものには○，正しくないものには×をつけましょう。

- ① 星は、西の空にしか見えない。
② 1等星と2等星では、1等星の方が明るい。
③ 色は、星によってちがう。
④ 明るさは、どの星でも同じだ。

- (2) 東の空にならんだ3つの明るい星を見つけました。

- ① 右の写真の①の星の名前を書きましょう。
② この3つならんだ明るい星をまとめて何といいますか。



(1)	①	×	②	○
(1)	③	○	④	×
(2)	①	アルタイル		
(2)	②	夏の大大三角		

[3] 次の動物や植物の夏のようすは、春とくらべてどのように変わっていますか。

(知識・技能)《30》

下の表の絵を手がかりにして、表の()にあてはまる言葉を書きましょう。

	サクラ	ツルレイシ・ヘチマ	オオカマキリ	カエル
春	 花がさいている。	 芽が出て、少しずつ葉がふえてきた。	 オオカマキリの(③)がたまごからたくさん出てきた。	 うまれたばかりで、まだ(⑥)のじょうたいだった。
夏	 (①)がふえている。	 くきがのびていて、(②)がさいていた。	 体の色は(④)になり、体の大きさが(⑤)になっていた。	 足が生えて、体が大きくなっていた。水中からりくにあがっていた。

①	葉
②	花
③	よう虫
④	緑色
⑤	大きく
⑥	おたまじゃくし

[4] 夏の動物や植物についてまとめました。

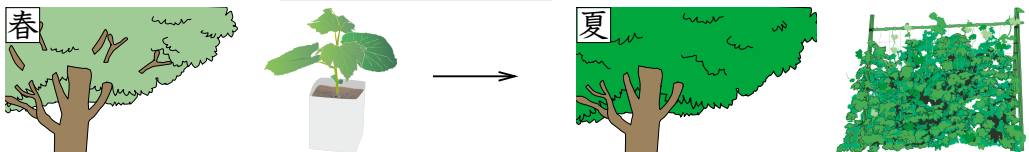
(思考・判断・表現)《25》

- (1) 次の文の()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

夏になると、春とくらべて気温が(①)。動物は、活動が(②)なり、数が(③)。

ア 上がる イ 下がる ウ さかんに エ にぶく オ ふえる カ へる

- (2) 植物は、夏になると春とくらべてどのように変わっていますか。下の絵を手がかりにして、2つ書きましょう。



(1)	①	ア
(1)	②	ウ
(1)	③	オ
(2)	・葉がしげる(ふえる)。 ・くきやえだかのびる。 ・葉の色がこくなる。 などから2つ (教師判断)	

4 年	6 令8 理科	【大日本】 6 月と星の位置の変化 秋 P94~109 P128~133 【東 書】 6 月や星の見え方 すずしくなると P78~91, P189 P102~109	名	組	番	評 点		■知・技	思・判・表
			前						／45

《全問各5》

[1] 時間がたつと月の位置がどのように変わるのか調べるために、月の観察をしました。 (知識・技能)《40》

- (1) 観察カードには、どのようなことが分かるようにかくとよいですか。観察カードにかくとよいことを、下のア～カから3つえらび、記号を書きましょう。

ア 月の形 イ 天気 ウ 気温 エ 月の方角
オ 見つけた生き物 カ 観察した時こく

- (2) 右の①や②のような月を見つけました。それぞれの月の名前を書きましょう。
(3) 観察から分かったことをまとめた下の文の()にあてはまる方位を書きましょう。

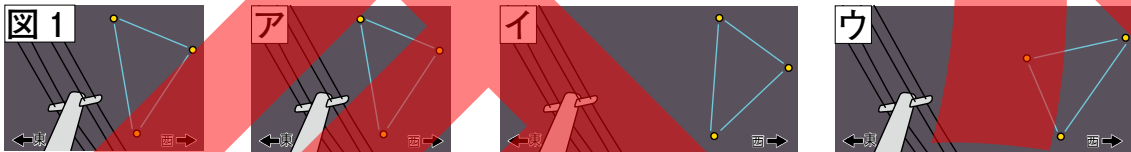
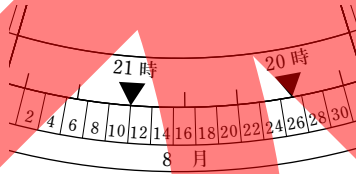


(1) ■	ア	
	エ	
	カ	
(2) ■	①	満月
	②	半月(上弦の月)
(3) ■	①	東
	②	南
	③	西

(順不同)

[2] 時間がたつと、星や星ざの位置やならび方がどのように変わるのか調べるために、星の観察をしました。 ((1)知識・技能(2)(3)思考・判断・表現)《20》

- (1) ある日時の星ざを調べました。右の星ざ早見を使って20時の星ざを調べたとすると何月何日か、書きましょう。
- (2) 図1は午後7時(19時)に見た夏の大三角です。2時間後にもう一度観察したときの星ざの位置やならび方は、どのように変わっていますか。下の図のア～ウからえらび、記号を書きましょう。



- (3) (2)になる理由を説明した下の文の()にあてはまる言葉を書きましょう。

星や星ざは、時間がたつと、(①)は変わりますが、(②)は変わらないからです。

[3] 次の動物や植物の秋のようすは、夏とくらべてどのように変わっていますか。下の表の絵を手がかりにして、表の()にあてはまる言葉や文を書きましょう。 (思考・判断・表現)《20》

	サクラ	オオカマキリ
夏	こい緑色の葉がふえている。 	緑色になり、からだが大きくなっていた。
秋	葉の色が(①), かれて葉が(②)。 	おなが(③)いるので、もうすぐ(④)と思う。

①	かわり 茶色くなり など
②	落ちる なくなる など
③	大きくなって ふくらんで など
④	たまごをうむ さんらんする など

(教師判断)

[4] 秋の動物や植物についてまとめました。次の文の()にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。 (思考・判断・表現)《20》

秋になると、夏とくらべて気温が(①)。動物は、活動がにぶくなって、すがたや活動のようすを見られることが(②)。植物には、(③)ができて、その中に(④)ができる。

ア 下がる イ 上がる ウ へる エ ふえる
オ 実 カ 葉 キ くき ク たね

①	ア
②	ウ
③	オ
④	ク

4 年	7 令8 理科	【大日本】 7 わたしたちの体と運動 P110～127 【東 書】 2 動物のからだのつくりと運動 P16～29	名 前	組 番		評 点		■知・技	思・判・表
								/25	/25

《全問各5》
(知識・技能)《15》

【1】 自分のうでをさわって気づいたことをまとめました。次の文の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

うでの中には、いつもかたい部分と、やわらかく、力を入れるとかたくなる部分がある。いつもかたい部分を（ ① ）といい、やわらかい部分を（ ② ）という。
うでの曲がる部分には、（①）のつなぎ目があり、その曲がる部分を（ ③ ）という。

■	①	ほね
	②	きん肉
	③	関節

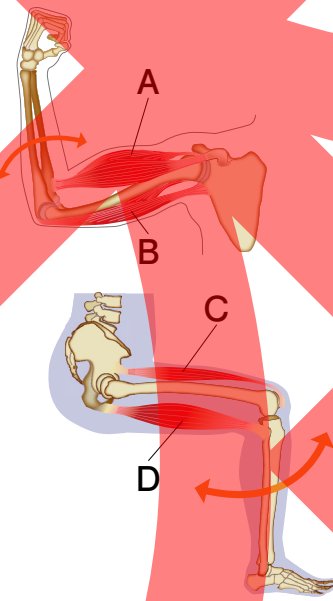
【2】 人やウサギのきん肉について調べました。

(思考・判断・表現)《25》

(1) 右の図のようにひじやひざの曲がり方についてまとめました。次の文の（ ）にあてはまる言葉を下の□からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

- ・ ひじをのばすとき、Aのきん肉は（ ① ）。
- ・ ひじを曲げるとき、Bのきん肉は（ ② ）。
- ・ ひざをのばすとき、Cのきん肉は（ ③ ）。
- ・ ひざを曲げるとき、Dのきん肉は（ ④ ）。

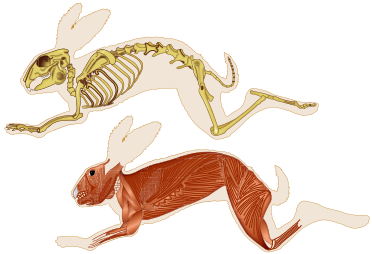
ア ゆるむ イ ちぢむ



(1)	①	ア
	②	ア
	③	イ
	④	イ
(2)	前あし・後ろあし	

(2) ウサギのからだのつくりについてまとめました。次の文の（ ）の中の正しい言葉をえらび、かい答らん^{はったつ}に○をつけましょう。

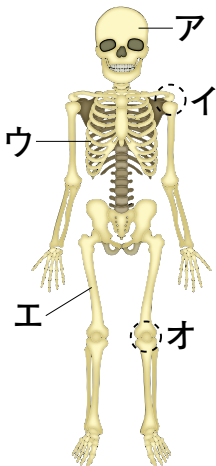
ウサギは、（前あし・後ろあし）のきん肉が発達している。そのため、はねるように走ることができる。



【3】 右の図は、人のからだのほねのようすです。

(知識・技能)《10》

- (1) 心ぞうやはいを守っているほねはどこか、図の ア～オからえらび、記号を書きましょう。
- (2) ほねには、(1)のように、からだの中のものを守るやくわりがあります。ほねには、他にどのようなやくわりがあるか書きましょう。



(1)	■	ウ
(2)	■	からだをささえる。

★ ^{じゅ}授業の中で学んだことを書きましょう。

4	8	【大日本】 8 ものの温度と体積 P134～151, P224 【東 書】 9 物の体積と温度 P120～133, P192	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
年	令8 理科						/70	/30

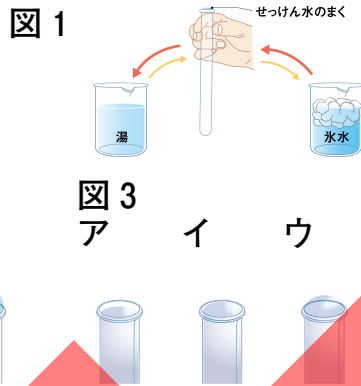
《全問各5》

[1] 空気や水の温度と体積の関係を調べる実験をしました。
先生の指示にしたがって、A、Bどちらかをえらび、次の問いに答えましょう。

(知識・技能)《50》

A (1) 試験管の口にせっけん水のまくをつけて、図1のようにしました。あたためたり冷やしたりしたときの、せっけん水のまくのようすを図2のア～ウからえらび、記号を書きましょう。

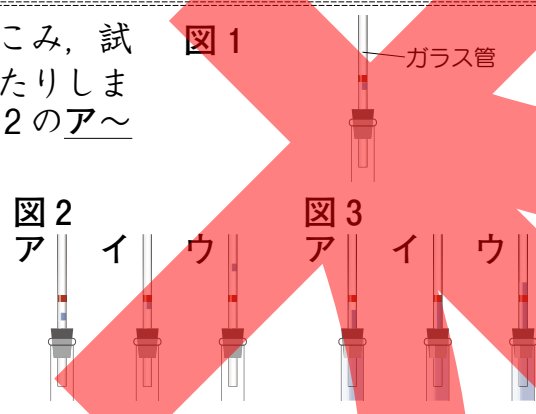
(2) 試験管に水をいっぱいまで入れて、図1のようにしました。あたためたり冷やしたりしたときの、試験管の中の水面を、図3のア～ウからえらび、記号を書きましょう。



(1)	あたためたとき	ウ
	冷やしたとき	ア
(2)	あたためたとき	ウ
	冷やしたとき	ア
(3)	①	ウ
	②	ア
	③	ウ
	④	ア
	⑤	オ
	⑥	エ

B (1) 図1のようなそうちを試験管にさしこみ、試験管の中の空気をあたためたり冷やしたりしました。ガラス管の中の水のようすを図2のア～ウからえらび、記号を書きましょう。

(2) 水を満たした試験管に図1のようなそうちをさしこみました。試験管の中の水をあたためたり冷やしたりしたときの、ガラス管の中の水のようすを、図3のア～ウからえらび、記号を書きましょう。



(3) この実験からいえることをまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を下の [] からえらび、記号を書きましょう。(同じ記号を何回使ってもよい)

空気の体積は、あたためられると (①) なり、冷やされると (②) なる。水の体積は、あたためられると (③) なり、冷やされると (④) なる。また、(⑤) よりも (⑥) の方が、体積の変わり方が大きい。

ア 小さく イ 変わらないままに ウ 大きく エ 空気 オ 水

[2] 金ぞくの温度と体積の変わり方を調べました。 ((1)(4)知識・技能 (2)(3)思考・判断・表現)《35》

(1) 実験用ガスこんろの使い方について、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

① つまみを回して火がつかなかったらそのまま待つ。

② ガスこんろは平らで安定した場所に置く。

③ ガスポンペを外した後、もう一度つまみを「点火」まで回して、中に残ったガスをもやす。

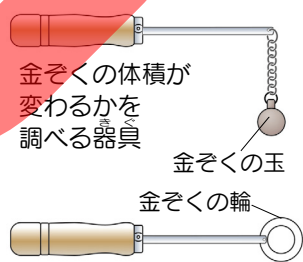
(2) 右の図のような道具を使い、金ぞくの玉を輪に通すと、玉はすれすれで輪を通りぬけました。その後、金ぞくの玉を熱して、通りぬけるかたしかめました。

① 金ぞくの玉を熱した後、玉は、輪を通りぬけますか。正しい方をえらび、かい答らん()に○をつけましょう。

② ①の理由を「体積」という言葉を使って、書きましょう。

(3) (2)の実験のあと、金ぞくの玉を水で冷やしました。金ぞくの玉は、輪を通りぬけますか。正しい方をえらび、かい答らん()に○をつけましょう。

(4) 水、空気、金ぞくで体積の変わり方が大きいじゅんにならべて書きましょう。



(1)	①	×
	②	○
	③	○
(2)	①	通りぬける (通りぬけない)
	②	(金ぞくがあたためられて、) 体積が大きくなったから。(教師判断)
(3)		通りぬける (通りぬけない)
(4)	空気	→ 水
	→ 金ぞく	

(完答)

[3] ものの体積と温度の関係がわたしたちの生活にどのようにかかわっているか考えます。

(思考・判断・表現)《15》

(1) 温度計についてまとめました。次の文の () にあてはまる言葉を書きましょう。

右のような温度計には中に赤いえきが入った管があります。温度計は、(①) によってえきの (②) が変わるせいしつを利用しています。

(2) 鉄道のレールや橋は、右の絵のように、つなぎ目にすき間をあけています。その理由を書きましょう。

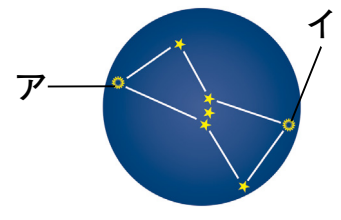


(1)	①	温度
	②	体積
(2)		暑い夏の日、レールがのびて曲がってしまうのをふせぐため。(教師判断)

4 年	9 令8 理科	【大日本】 冬の星 冬 P 152~155 P 156~169, P 227 【東 書】 冬の星 寒くなると P 148~151 P 152~157, P 174~179, P 189	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
							/75	/25

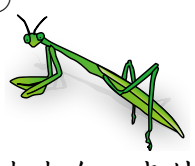
【1】 冬の星ざや星の動きについて、^{かんさつ}観察をしました。 《全問各5》
(知識・技能)《40》

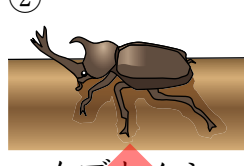
- (1) 右の星ざの名前を書きましょう。
- (2) 右のア、イの星の名前を書きましょう。
- (3) 冬の星ざや星の動きについて、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 星ざを形づくる星は、すべて白色である。
- ② 星ざを形づくる星は、星によって明るさがちがう。
- ③ 冬でも、夏と同じ時こくであれば、夏と同じ星ざが見える。
- ④ 冬の星ざは、時間がたつと見える位置^いち^ちが^か変わる。
- ⑤ 冬の星ざは、時間がたつと星のならびが変わる。

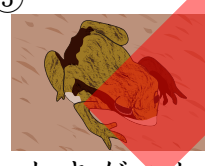


(1)	■	オリオン	ざ
(2)	■	ア	ベテルギウス
		イ	リゲル
(3)	■	①	×
		②	○
		③	×
		④	○
		⑤	×

【2】 下の①～④の動物や植物は、どのようなすがたで冬をこすでしょう。下の
からえらび、記号を書きましょう。 (知識・技能)《20》

①  オオカマキリ

②  カブトムシ

③  ヒキガエル

④  サクラ

■	①	ア
	②	イ
	③	オ
	④	ク

ア たまごのすがた イ よう虫のすがた ウ 成虫^{せいちゅう}のすがた エ おたまじゃくしのすがた
オ カエルのすがた カ 葉^はがしげったすがた キ 花^{はな}がさいたすがた ク えだ^{えだ}と芽^めだけのすがた

【3】 1年の季節^{きせつ}のうつりかわ^かわりについて調べました。 ((1)知識・技能 (2)(3)思考・判断・表現)《40》

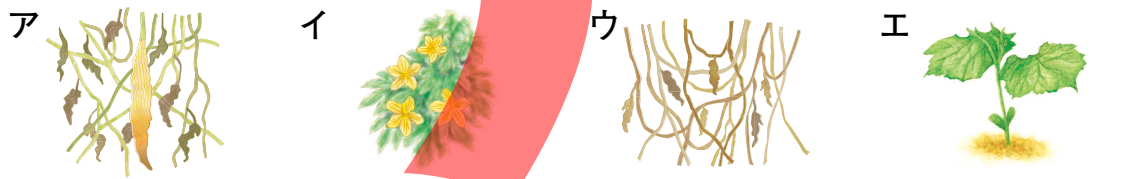
- (1) 季節のうつりかわりについてまとめました。()にあてはまる言葉を下の からえらび、記号を書きましょう。

あたたかい季節になると、(①)は活動が活発になり、(②)はよく成長する。寒い季節になると、(①)は活動がにぶくなり、(②)のようすはほとんど変化^{へんか}しない。

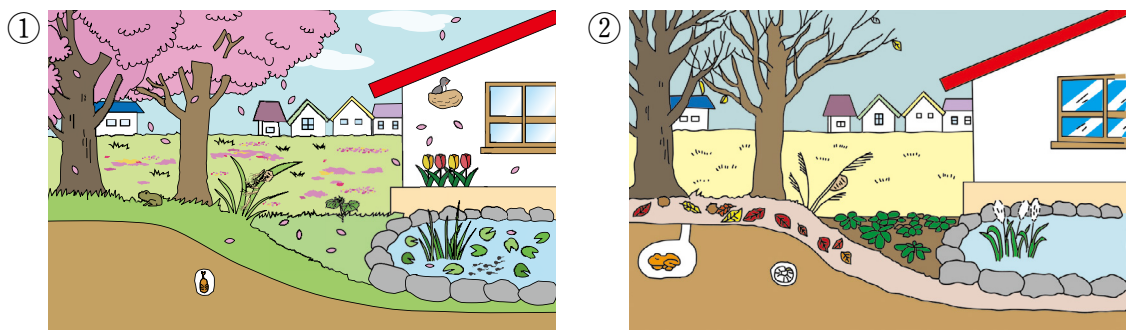
生物のようすは、季節の変化によってちがいが (③)。

ア 植物 イ 動物 ウ ある エ ない

- (2) 下はツルレイシの図^{じゆん}です。ア～エを春から冬の順になるようにならべかえ、記号を書きましょう。



- (3) 次の①、②の絵は、春、夏、秋、冬のどの季節を表しているでしょう。また、そのように考えた理由を、生物のようすをもとに書きましょう。



(1)	■	①	イ
		②	ア
		③	ウ
(2)		エ → イ → ア → ウ	
(3)	①	理由	季節 春
			・サクラの花がさいているから。 ・オオカマキリのよう虫が生まれているから。 ・オタマジャクシがいるから。 ・ツルレイシの芽が出ているから。 など(教師判断)
(3)	②	理由	季節 冬
			・カエルが冬みんしているから。 ・カブトムシのよう虫が土の中にいるから。 ・木がかれているから。 など(教師判断)

(完答)

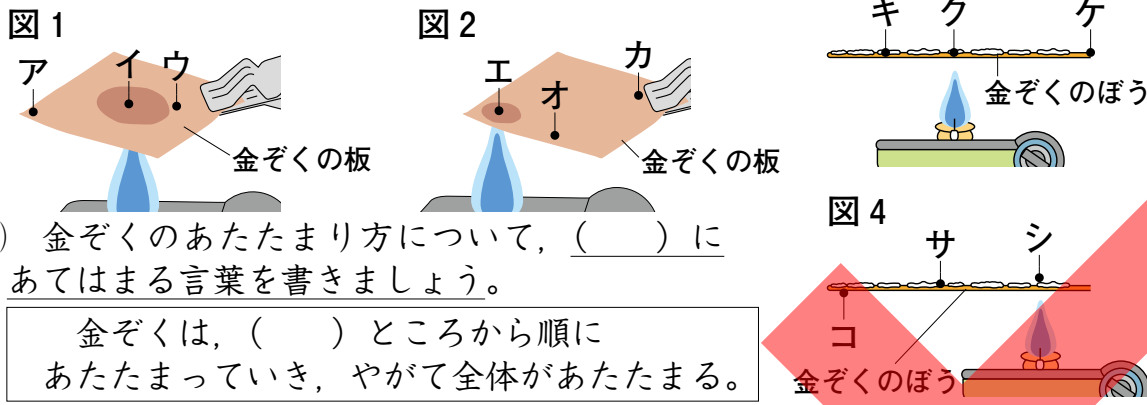
4	10	【大日本】 9 もののあたたまり方 P170～185, P220 【東 書】 10 物のあたたまり方 P134～147, P188	名	組	番	評	知・技	思・判・表
			前			点		
年	令8 理科						/50	/50

《全問各5》

[1] 金ぞくのあたたまり方について調べました。

《(1)知識・技能 (2)思考・判断・表現》《25》

- (1) 金ぞくのぼうや板にろうをぬり、熱しました。下の図1～図4で3か所のろうが、とけるのが早い方から順にそれぞれア～シの記号を書きましょう。



(1)	図1	イ → ウ → ア
	図2	エ → オ → カ
	図3	ク → キ → ケ
	図4	シ → サ → コ
(2)	熱せられた	

- (2) 金ぞくのあたたまり方について、() にあてはまる言葉を書きましょう。

金ぞくは、() ところから順にあたたまっていき、やがて全体があたたまる。

[2] 水の入った試験管の中に示温インクを入れ、水のあたたまり方を調べました。《(1)2知識・技能 (3)4思考・判断・表現》《30》

- (1) 実験をするときに気をつけることについて、正しいもの 図1 には○、正しくないものには×をつけましょう。

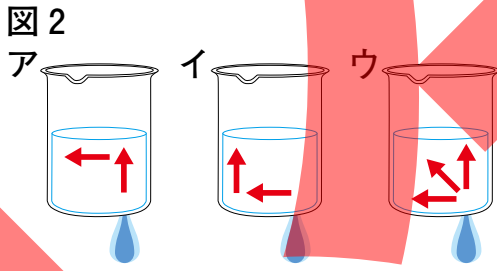
- ① 水の動きが見にくくなってしまうので、ほごめがねはかけない方がよい。
② 実験に使った道具は、冷めるまでさわってはいけない。

- (2) 図1のように、ガスこんろで試験管を熱しました。水のあたたまる順に記号を書きましょう。

- (3) 図2のように、ビーカーの中に水を入れ、熱しました。あたためられた水はどのような動きになりますか。ア～ウからえらび、記号を書きましょう。

- (4) 水のあたたまり方をまとめました。() の中の正しい言葉をえらび、かい答らんには○をつけましょう。

あたためられた水は、① (上 ・ 真ん中 ・ 下) の方へ動く。このようにして、水は② (一部分 ・ 全体) があたたまっていく。



(1)	①	×
	②	○
(2)	ア → イ	
(3)	ア	
(4)	①	上 ・ 真ん中 ・ 下
	②	一部分 ・ 全体

[3] 部屋のエアコンでだんぼうをつけています。

《(1)2知識・技能 (3)～(5)思考・判断・表現》《40》

- (1) この部屋のゆかの近くと天井の近くで温度を計ると図1のア、イのようになりました。ア、イの温度はそれぞれ何度ですか。

- (2) 天井の近くの温度はア、イのどちらか、記号を書きましょう。

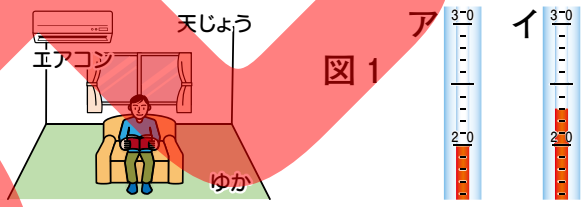
- (3) 空気のあたたまり方についてまとめました。次の文の() にあてはまる言葉を、下の からえらび、記号を書きましょう。

空気は、(①) と同じように、熱したところの空気が(②)。かわりに上の冷たい空気が(③)。このように空気が動くことによって全体があたたまる。

ア 金ぞく イ 水 ウ 上に動く エ 下に動く

- (4) エアコンで部屋をあたためるとき、部屋全体をより早くあたためるには、ふき出し口を上と下、どちらに向けたらよいでしょうか。かい答らんの正しい方に○をつけましょう。

- (5) (4)のように考えた理由を書きましょう。



(1)	ア	20	℃
	イ	23	℃
(2)	イ		
(3)	①	イ	
	②	ウ	
	③	エ	
(4)	上 ・ 下		
(5)	あたためられた空気は、上の方へ動くから。(教師判断)		

《(思考・判断・表現)》

[4] 熱気球がうかぶ理由について、正しいものはどれか、下のア～ウからえらび、記号を書きましょう。《5》

- ア ガスバーナーのほのおがふき出す力で、気球をもちあげているから。
イ 気球の中で、空気が水じょう気(水蒸気)に変わるから。
ウ 気球の中の空気が、ガスバーナーであたためられ、上に上がろうとするから。

ウ

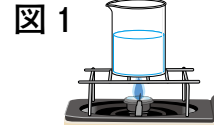
4 年	11 令8 理科	【大日本】10 すがたを変える水 P 186～205 【東 書】11 水のすがたと温度 P 158～173	名	組	番	評	■知・技	思・判・表
			前			点		
							/65	/35

《全問各5》

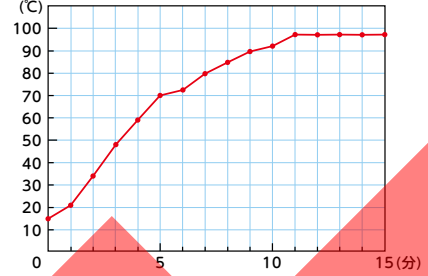
[1] 図1のように、水を熱して温度の変化を調べました。

(知識・技能)《35》

- (1) 図1のビーカーの中に、熱い湯がふき出すのをふせぐために何を入れますか、書きましょう。
- (2) 実験結果を右のようにグラフにしました。次の①～③の文で、正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。
- ① 熱し始めて3分後には、60℃をこえた。
- ② 熱し始めて11分後には、水がふっとうし始めた。
- ③ 実験がおわった後、水の量がへっていた。
- (3) 水を熱し続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。



水の温度の上がり方 水150mL



(1)	■	ふっとう石
(2)	①	×
	②	○
	③	○
(3)	①	ア
	②	エ
	③	カ(アでも可)

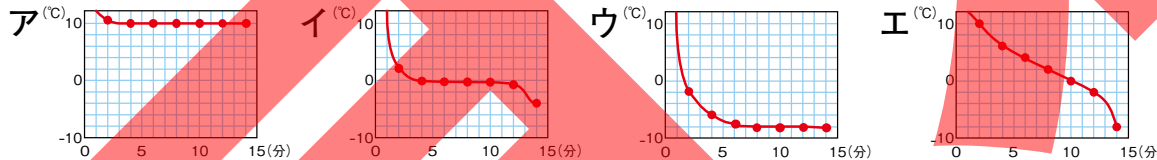
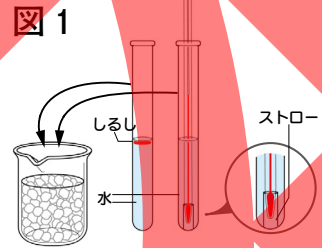
水は、熱し続けると(①)近くまで温度が上がる。このとき中からさかんにあわが出てくる。このことを(②)という。水が(②)している間、水の温度は(③)。

ア 100℃ イ 80℃ ウ じょう発 エ ふっとう オ 変わる カ 変わらない

[2] 図1のように試験管に水を入れ、冷やし続けました。

((1)(2)知識・技能 (3)(4)思考・判断・表現)《30》

- (1) 温度計の先にストローをつけました。その理由を書きましょう。
- (2) さらに温度を下げるには、ビーカーの中に何を入れるとよいか、書きましょう。
- (3) 水の温度を2分ごとに調べ、グラフに表しました。このグラフとして正しいものを次のア～エからえらび、記号を書きましょう。



(1)	■	温度計が割れないようにするため。 (教師判断)
(2)	■	食塩(塩)
(3)	■	イ
(4)	①	ア
	②	エ
	③	オ

- (4) 水を冷やし続けたときの温度の変わり方についてまとめました。()にあてはまる言葉を、下の□からえらび、記号を書きましょう。

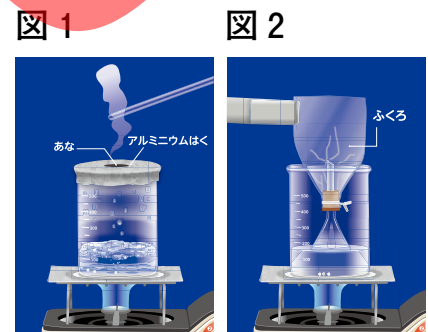
水は冷やし続けると温度が下がり、(①)℃になるとこおり始める。水がこおり始めてから、全部の水が氷になるまで、温度は(①)℃のまま変わらない。全部の水が氷になった後は、温度が(②)。水が氷になると、体積が(③)なる。

ア 0 イ 10 ウ 上がる エ 下がる オ 大きく カ 小さく

[3] 図1、図2のように、水を熱したときに出てくるあわについて調べました。

(思考・判断・表現)《15》

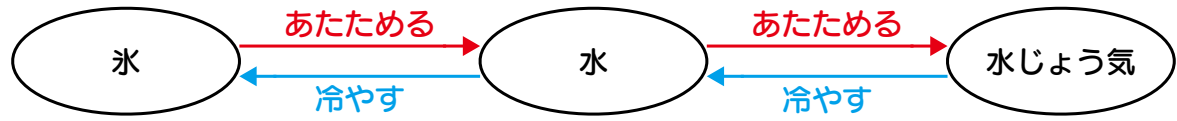
- (1) はじめに図1のように、水を熱すると、あなから湯気が出ました。そこであなにガラスぼうを近づけると、水がつきました。湯気の正体は何だといえるかを、「湯気は」という書き出しに続けて書きましょう。
- (2) 次に、ビーカーのそこから出るあわを図2のようなそうちを使って集めました。ふっとうしているときは、ふくろがふくらみました。この後、熱するのをやめると、ふくろはどうか、書きましょう。
- (3) (2)のとき、ふくろの中にある変化が見られました。どのような変化が見られたか、書きましょう。



(1)	湯気は 小さな水のつぶである。 (教師判断)
(2)	しぼむ
(3)	水てきがついていた。

[4] 下の図のように水のすがたの変わり方についてまとめました。

(知識・技能)《20》



- (1) 氷、水、水じょう気のようなすがたを、何というか。それぞれ書きましょう。
- (2) 氷、水、水じょう気のうち、目に見えないものはどれか、書きましょう。

(1)	氷	固体
	水	えき体
	水じょう気	気体
(2)	水じょう気	